

社説

亞炭香古学のアンケート
(4号掲載)がおもしろい。
寄稿者それぞれの「私の場
合」の集積から、他者と密
接に関わりながら暮らして
いた時代の空気がおつて
くるようである。

整理分析は行わず、語表記
や重複箇所もそのまま雑列
されている。本来の調査対
象が時代背景全般の採録で
ある以上、少しでも内容を
多く含む方法で提示すべき
との判断だが、紛ぎ出され
る記録などは取
り除かれていくが、今回の
アンケートではそういった

学術的手法では抜け落ちが
ちな人肌の生活感が行間に
漂う記録となつた。今でも
連続する感の声とともに追加情報
を提供する。

アシタバのアンケート
は郷愁のスイッチ。知らない世代にとって煙
は実際どんなニオイなの? お思いの方に
朗報です。広瀬川あたりに落ちている亞炭を少
し加工すれば、いつでも卓上で昭和の仙台風景
を再現できます。その名も「亞炭香」。

忘却の地層にまたたく記憶

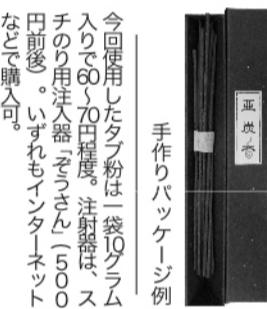
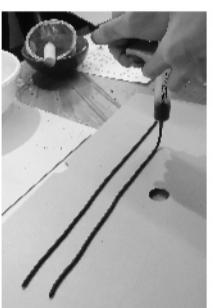
亞炭香古学アンケート考

や訂正意見などが寄せられ、
さながら「記憶の友釣り」
状態であるらしい。
企業全般の構成を担当し
た伊達伸明氏は「客観的な
証言の掘り起こし効果と同
じに思われる」という。尋ねられた
時に、忘れていたものを思
い出す個々の瞬間に興味が
ある以上、少しでも内容を
多く含む方法で提示すべき
との判断だが、紛ぎ出され
る記録などは取
り除かれていくが、今回の
アンケートではそういった

記憶、不確定情報などを取
り除かれていくが、今回の
アンケートではそういった

目からウロコの
亞炭活用術

気軽に手作り「亞炭香」



手作りパッケージ例

今回使用したタブ粉は袋10グラム
入りで60~70円程度。注射器は、ス
チのり用注入器「そうさん」(500
円前後)。いずれもインターネット
などで購入可。

湯けむりの奥に
太古のドラマ

亞炭香報のバックナンバーは
インターネットでもご覧いただけます!

お問い合わせ・情報提供は
発行／(公財)仙台市市民文化事業団
事業課 電話 022-301-7405
FAX 022-727-1874

トマト	600
黒豆	200
黒豆ソース	200
黒豆マーマレード	150
黒豆ミルク	150
黒豆マカロニ	250
黒豆チーズ	250
黒豆コーン	250

黒いものしかありません
驚きの介護民俗学
六車由実著

マチナカは民俗学のフィ
ールドである。遠いどこか
の原風景もいいけれど、わ
れわれが住む「ここ」を知
るキーワードが人々の語り
の奥に開かれている。氣鋭の民俗学者が大学を
やめて高齢者施設で働きはじめた。過酷な勤務の中で
出会ったのは、認知症患者
として人所している戦後
日本のを作り上げてきた人
々の地道にして劇的な生き
様。語りの奥の風景の広が
りに驚嘆し、ただひたすら
聞くことに徹した著者が、
その活動を「介護民俗学」と
設定したことでの現場が抱える課題が浮き彫
りになる。

昔の話でケムに巻く!? ワークショップ公開

趣味 地質×手芸

「亞炭の頃」を知る世代にとって煙とニオイ
は郷愁のスイッチ。知らない世代にとっては煙
は実際どんなニオイなの? お思いの方に
朗報です。広瀬川あたりに落ちている亞炭を少
し加工すれば、いつでも卓上で昭和の仙台風景
を再現できます。その名も「亞炭香」。



ゴリゴリ砕いて粉にする

一夜限りの・亞炭バー 伝説と消ゆ

亞炭古学のスピノフ企画として
10月12日一夜限りの「亞炭バー」が開店
した。飲み物はもちろん黒ビールか黒鳥籠茶。食べ物
は見た目にも真っ黒な「石

炭あられ」「石炭アメ」か
ら、名前が黒い黒豆や黒米
料理まで、徹底的に「黒い」
メニューにこだわった。ド
レスコードまで黒と勘違い
した人も含め、口コミで集
まつた20名近い客で店内は
大盛況となつた。

今回の参加者に実際に亞炭
を使った世代はないが、
結剤として使われる。
まずは亞炭の粉碎。参加者
は時折飛び散る硬い粒に苦労
しながら摺つてはふるいにかけ
を繰り返し、ススのような
微粉末を精製。記者も参加し
たが、粗い粒が残っていると
射出の際に穴がつまると言わ
れて必死に摺つたらこの時点
でも汗だくに…。そこには同量程度のタブ粉を
蓄麦生地と同じように、少し
づつ滴下していくのがコツ。
クライマックスは「ひねり
完成品が折れやすくなるため、
加えて練る。水が多くなると
出来た穴を大きめに加工した接着材充填用の
注射器に生地を入れ、力一杯
シリンドラーを押すと、黒いヒ
モ状の生線香がにゅるり。ケ
ーキ作りのような金魚のフン

のようない思議な感覚に一同
は思わず声を上げた。これを
ドライヤーで乾かせばオリジ
ナル亞炭香の完成だ。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「聞いていたほど嫌なニ
オイじゃない」とおもむね好
評。かつて仙台を悩ませた煙
も、薄味ならば世代間をただ
よって会話を温めてくれる、
かもしれない。

◆ ◆ ◆

ワークショップに先立つて
作られた試作品は、いろは横
丁の展示会場でも煙の話題が
出るたびに焚かれた。「ああ
この二オイ!」「こんなだつ
たかなあ」「量が少ないね、
抹香のままモクモク焚いてみ
ては?」など来客の反応はさ
まざま。初めて嗅いだという
人も「